



生体材料の研究をしています

生体と接触する人工材料や、生体組織を検査する技術の開発を行っています。

連絡先 : kurotobi (あっと) mse.suzuka-ct.ac.jp



黒飛 紀美
所属 材料工学科
職名 准教授
学位 博士 (理学)

研究

専門 医療材料, 遺伝子検査

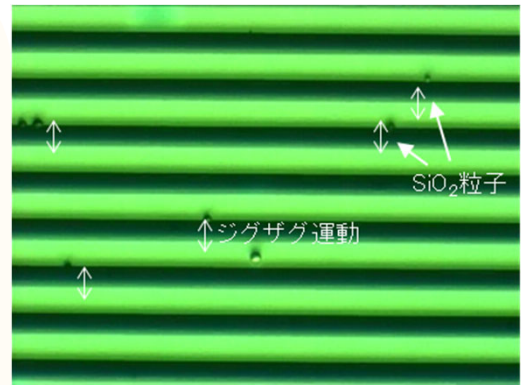
所属学会 高分子学会,

研究 血液適合性材料および組織適合性材料の開発,
遺伝子検査技術の開発,

Key word 細胞培養, 人工材料, 生体適合性,
遺伝子検査, 誘電泳動, DNAチップ

実験装置 バイオクリーンベンチ, CO₂インキュベーター,
遠心機,

論文など [researchmap](#)



誘電体の搬送

誘電泳動法を用いると、誘電体の搬送が行えます。
この特徴を利用して、遺伝子検査に応用します。
特開2010-008254「攪拌方法および該攪拌方法を用いた分析方法」

ESSENCEについて	材料環境科学のアウトライン
fishbone/ノート整理術を利用したワークシート。 授業でページずつ進んでいます。 (参考:フィッシュボーンノート術 駒井俊俊 著)	地球を取り巻く環境問題を理解し、将来に対してどのように行動するべきかを考える。
使い方 授業ノートとして利用してください。 次の授業までに復習をし、空き時間に眺めてみてください。	
<p>*本ワークシートに授業の内容は、副題「環境からわかる環境科学」の内容をもとに構成されています。またESSENCEと併読用のワークシートは、要件毎の関体で無料転用を禁じます。</p> <p>序章 環境科学とは</p> <p>①がダラス及び「環境科学の位置づけ」 ②環境汚染物質の人の影響 ③水質汚染 ④水質浄化技術 ⑤大気汚染の抑制と防止技術 ⑥土壌汚染 ⑦新集約と人口問題 ⑧デトックス ⑨地球温暖化の影響 ⑩オゾン層の破壊 ⑪エネルギー資源 ⑫廃棄物処理の目的と資源化について ⑬生態系 ⑭環境科学における材料工学の役割と重要性 ⑮これまでの授業に関しての振り返り ⑯期末試験</p>	<p>中期試験は行いません。 その代わりに、毎回の授業が終わった時点でレポートを課します。 提出期限は1週間とします。レポートの評価点は20%とします。 その他、期末試験を50%。 確認テスト(毎回の授業後に提出してもらう課題)30% として100点満点で評価を行います。</p> <p>確認テストはteamsのアプリの中にある、Formsを用いて出題します。</p> <p>レポート 20点 期末試験 100点×0.5 授業の確認テスト(応答も含まれる) 30点</p>
授業の内容	授業の評価

教育

担当授業

材料環境科学(5年), 有機材料(4年),
卒業研究(4年), 材料工学序論(1年)
創造工学(4年), ものづくり実習(2年),
材料工学実験(4年), 卒業研究(5年)

取り組み

授業では、「ESSENCE」というワークシートを用いて、その場でわかる授業に心がけています。

Message

現在、卒研性を受け入れられるように準備中です。夢中になれるものを見つけ一緒に頑張りましょう。

授業で用いているワークシート「ESSENCE」

ノートしているうちに授業が終わってた…そんな経験ありませんか? 大切なところを聞き逃さない、予習、復習に便利なワークシートです。(写真は授業ガイダンスのESSENCE資料) 小さすぎるわー